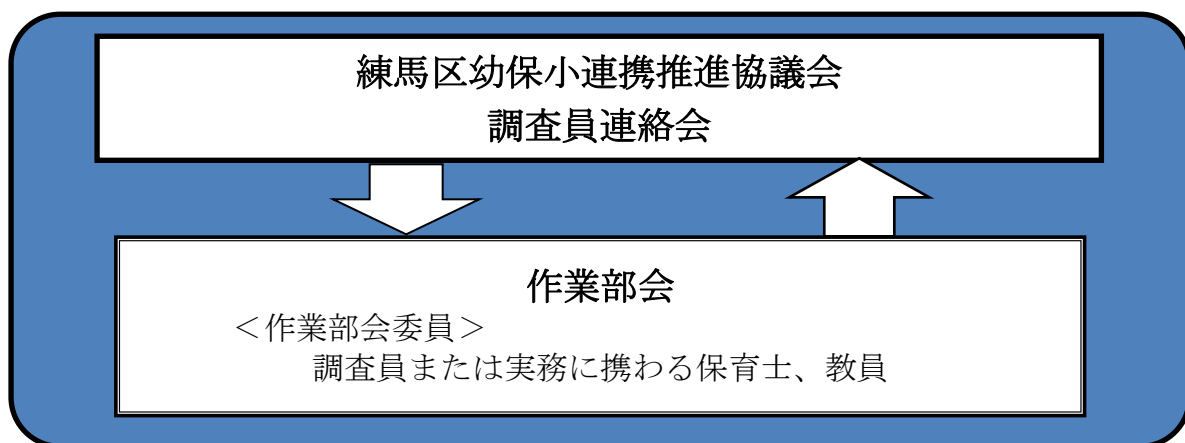


令和5年1月20日

## 「ねりま接続期プログラム～子どもの育ちと学びをつなぐ～」 改定について

令和5年度、「ねりま接続期プログラム～子どもの育ちと学びをつなぐ～」の改定するにあたり、協議・原稿案作成をするため作業部会を設置する。

### 1 プログラム原稿案作成体制



#### ◇作業部会を設置する目的

幼稚園、保育所（園）、小学校での実践的な取組、具体的な取組事例等を作業部会で共有し、義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間（架け橋期）を一体的に捉え、子どもの特性に応じ、発達の段階や学びの連続性を踏まえ、教育方法を工夫したカリキュラムを作成、実施するための手引き書（「ねりま接続期プログラム」改定版）について協議、原稿案作成をするため。

#### ◇作業部会委員の役割

「ねりま接続期プログラム～子どもの育ちと学びをつなぐ～」の原稿案に必要な事項について具体的な子どもの育ちや学びについて意見交換、協議し、原稿案作成する。

#### ◇作業部会委員（参考資料1 委員名簿）

調査員または実務に携わる保育士、教員 10名程度  
（区立幼保小、私立幼保から各2名）

#### ◇作業部会 会議日程（平日の夕方に開催を予定）

令和4年度 令和5年2月7日 15時～

令和5年度 3～4回程度

◇開催方法

対面または Zoom によるオンライン会議、

◇調査員連絡会の役割

調査員連絡会は作業部会の進捗状況の確認等を行い、幼保小連携推進協議会へ報告する。

2 調査員連絡会、作業部会（令和4年度～令和5年度）

年度	調査員連絡会	作業部会
令和4年度	第34回 8/1 第35回 11/8 第36回 12/1	第1回 2/7 実践的な取組の収集、考察
令和5年度	2回（予定） 原稿案の内容確認、 幼保小連携推進協議会へ報告	3～4回予定（5月～10月） 情報共有、原稿案の検討・作成

※令和5年度の日程については、調査員、作業部会委員確定後、調整する。